

IT21 の会 (平成 19 年 10 月) 第 113 回議事録

日時 平成 19 年 10 月 5 日(金) 18:30 ~ 20:20

場所 日本技術士会会議室 荻手第二ビル 5F A,B 会議室

出席者 14 名

配布資料

0710-01 IT 化によるロジスティクスの効率化

0710-02 冬期合宿のお知らせ「PEAK/IT」との合同合宿

0710-03 11 期の委員名簿

0710-04 IT21 の会 10 周年記念シンポジウム 貸し出しビデオの内容

0710-05 新 ICT による変貌する社会とシステム監査

0710-06 第 37 回日韓技術士会議 参加報告

議事

1. 議事及び資料確認

加納幸博氏

2. PEAK/IT との合同合宿について

役員・合宿委員

廣瀬会長より、IT21 の今年の合宿企画は PEAK/IT との合同合宿として 12 月例会の代わりに行うことが報告された。これは合宿参加者を増やすことと、合宿委員の負担を減らすことが理由である。PEAK 側より 6 月頃に打診があり、時期を合わせて実施が決定された。また、IT21 の会より 3 名の講演者を出して欲しいと依頼がある。テーマとしては IT 関連のことに限らず、技術士に関連することなら OK とのこと。参加受付は 11 月例会の後にホームページ上で受け付ける。また、合宿委員を 2 名募集中である。

3. IT 化によるロジスティックの効率化(マテハン編)

加納幸博氏

ロジスティクスの定義は抽象的であるが主に需要と供給活動をマッチングさせるためのものを称している。

これを支えるものがマテリアルハンドリング(マテハン)であり、搬送や機械による作業のことを指す。マテハンに使われるフォークリフトなどの機器をマテハン機器と呼ぶ。

現在、物流のインフラとして用いられている自動認識システムではバーコードが約半分を占めそれに続くのが二次元コードであり現段階では RF-ID の採用率は低いのが実情である。

RF-ID が普及されていない理由として使い捨て時のコストアップ、環境問題(不燃物)等の課題がある。

バーコードには JAN コードや ITF コードなどがあり、JAN コードにコードを付加することで ITF コードを生成できる。ただ、グローバル化により今年度より GTIN に移行し始めた。バーコードの次に普及している二次元コードとは水平方向と垂直方向に情報を持ち、情報を多く持たせたり、印字面積を小さくすることが出来る。代表例としては QR コード

がある。

物流センターにて扱われるアイテムには、大きく分けて TC 品(通過品)と DC 品(在庫品)がある。TC 品は鮮度が問われる商品であり、その為のマテハンにはソーター、デジタル表示器、ハンディターミナルなどがある。これらの制御にはシーケンサー(PLC)が用いられる。シーケンサーは事前にマスターをダウンロードし、基幹から出荷指示をダウンロードする。ケースが投入されたら、バーコードが読み取られ、データベースを検索し、OKかNGを返す。最終的に仕分けが終わった後に実績を上位へ通知する。

「在庫が合わない」対策として出庫(ピッキング)後の残数を表示し常に作業者に確認させる事、及び日々上位側と現場の在庫を突合せし且つ棚卸の一環として手間は掛かるが当日在庫変動したアイテムを報告し当該アイテムの棚卸を実施する。RF-ID のラベルとデジタル表示器の現物を持参し合わせて説明した。

DC 品(在庫品)は管理形態によって平置き、軽・中量棚、移動棚、自動倉庫に分けられる。

アプリケーションは分散環境で構築されフォールトトレラントを重視した設計になっておりタスクやスレッドで管理されている。昔は組み込み系のマルチバス・VMEバス等を用いていたが、現在は汎用的な OS の基に API やミドルウェア等で実装を行っている。

物流センターは入庫より出庫引当が肝である。実際の運用状況により近づける為にシミュレーションを行い、搬送機器の台数やレイアウトなどを決定していく。この作業には ABC 分析などを用いて、稼働率を考慮する。また「在庫が合わない」対策として出庫(ピッキング)後の残数を表示し常に作業者に確認させる事、及び日々上位側と現場の在庫を突合せし且つ棚卸の一環として手間は掛かるが当日在庫変動したアイテムを報告し当該アイテムの棚卸を実施する。

(RF-ID のラベルとデジタル表示器の現物を持参し合わせて説明した。)

今後のロジスティクスの展望として、J-SOX 法対応や ASP の導入、グリーン物流への対応が挙げられる。

4. 同上質疑応答

5. マニュアル委員会の廃止統合について

会長

現在 2 名の欠員が出ており、役割を終えたと判断されたマニュアル委員を廃止し、今後、軽微なマニュアル変更等にはホームページ委員と役員とで対応することが提案され、全会一致で承認された。

6. 日韓技術士会議参加報告

会長

廣瀬会長より 10 月 1 日、2 日にソウルにて行われた日韓技術士会議の参加報告が行われた。

7.10 周年記念シンポジウムビデオ DVD 貸し出しについて

小西洋三前会長

小西前会長より 4 月に行われた 10 周年記念シンポジウムのビデオ DVD のデモと貸し出しについての説明が行われた。

8.システム監査学会 第20回公開シンポジウムの紹介

黒澤兵夫氏

黒澤氏より11月に行われるシステム監査学会のシンポジウムの紹介が行われた。

9.初参加の方などの自己紹介

久しぶりに参加された2名の自己紹介と近況報告が行われた。(他に初参加の方が1名)

以上 (記載者：尾崎 健一郎 記)